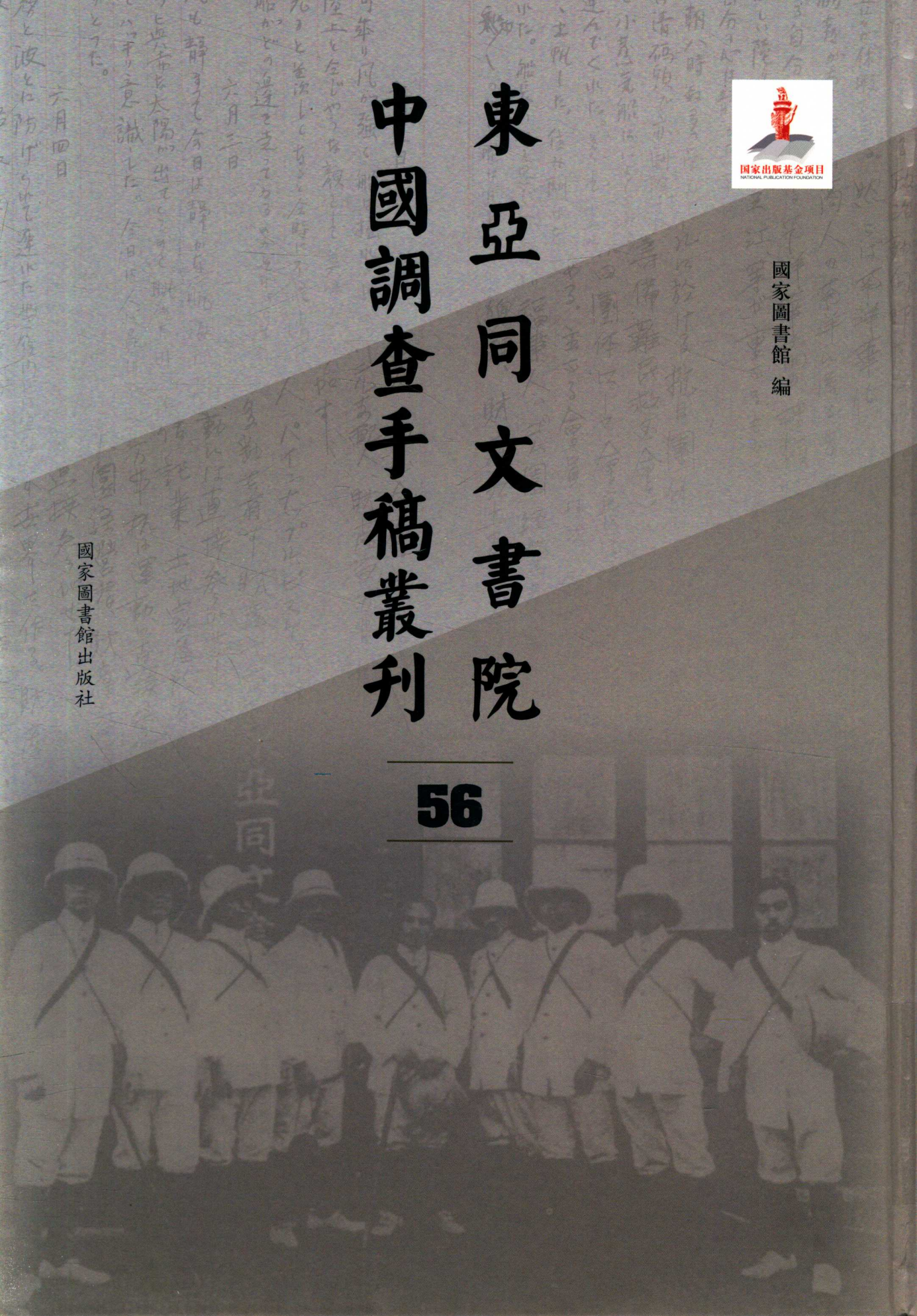


國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

56

國家圖書館出版社





國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

56

國家圖書館出版社

第五六冊目錄

昭和十四年（一九三九）旅行日誌（第三十六期生）

春名和雄	南通班		一
奥田隆	南通班		三三
池田安正	揚州班		五七
名倉光三	揚州班		九七
岡崎巖	揚州班		一二七
柚木弘久	徐州海州班		一六一
井唯信彦	徐州海州班		二〇九
松田正人	徐州海州班		二四七
河野龍雄	徐州海州班		二七一
今村一郎	安徽班		二九一
前川利雄	安徽班		三二九

秋山安正	安徽班		三六五
松野稔	江西班		四一三
樹野阪治	江西班		四九一
井上博治	漢口班		五四三
野田久太郎	漢口班		五六一
市村克孝	湖北班		五七七
古賀六郎	湖北班		五九九
光岡義男	湖北班		六二五

昭和十四年度

大旅行日誌

春名和雄

昭和十四年度

大張の田誌

江蘇省南通縣調查班

春 名 和 雄

六月一日

晴

昨五月三十日夕刻、十級生の「荒吹けく」の歌声に
校門を送り出され、ピラス・アパート同窓會本部に一
夜を明かして同方三人、午前十時起床、浦東よ
り南浦北に乗船、一路調査地南浦（向ふ）

吳淞より楊子江を横断、崇明島を右舷邊
るかに見送れば、やがて、楊子江沿岸の黒一線の破
方に低い山が見られぬ。この附近には珍らしい、旅
山五山である。船は順調に進んで、狼山を過ぎれば、
天生境に到着す。此処は南浦の門戸、坦々たる
江岸沿ひの楊柳の並木道を三十分許り、トラムク
にゆすられて、特務機關に参り、宿舎の用心配を

願ふ。南通は流石、郷紳張署の建設した町、
戦いの為に破壊されたとは云へ、大劇場の跡、公
園等、見事なものである。幸ひ、海門班長平
松先輩に會するを得たり。

夜、鐘紡江冶公司に大江先輩を訪ひ、種々有
益なる話を伺ふ。

六月二日、晴

午前八時一同起床。

縣公署に縣知事を訪ひ、挨拶をし、兼て、特務
機關南通班に至り、二十年来之南通及び、南
通に関する写真帳を貰ふ。

午後は警備隊に部隊長訪ひ、不在の為、副

官に挨拶す。

往南通班 宿舎を訪問、公立中學校に教員に任
にぬられる東京高等師範出身の倉光氏に会ひ、
種々話を承ぬ。實際教育に當つてゐる方とい
て、その話は有益なり。生徒一般の気風が未だ、
抗目的なることを、なげかれてゐた。

六月三日、晴

特務機關長より種々話を承ぬ。

農業方面より工業公司、農業研究所、試作場、
通種の説明、遊撃隊区域に於ける棉作禁
止令等、

交通方面より、1. 軍事の方面、2. 経済の方面、

経済方面については、陸運、内河航路共に江業公司
に一任するも、大体引き船を統制する。遊撃隊
区域との交通は馬々渡々なり。

金融方面は現在銀、銅、鉄、花、金、を以て、銀、
の出張所を設定、豫定、通貨は法幣、
軍票何れも通用し、バーにリンクす。

江業公司は日支合弁を原則としてゐるが大生鈔
廠を軍管理の下に委託経営を以てゐる。

六月四日 (日曜) 晴

「南通月報」の跋

南通縣城は以前人口四萬余なりと現在二萬
余城壁は民國になりて、取り除くも、城門は残

つゝある。城外は道幅狭く、南門より縣署に通
ずる道路は、最も繁華街にして、毎朝、市が立つ。
城外は、之に及んで、道路廣く、学校等多く、近代的
な感じを受ける。

六月六日(火曜) 曇

午前、中学校を訪問。相当古い建物で、事変前
は省立や七中学校なり。校長が出校し、中学
校女生部を訪ね、應待に出きた北京館のきれいな
先生に種々傍手な事を聞け、授業を参観。自分
自身生れて始めての中学校参観であつたが、内容
が綺麗なのは心に感心した。授業参観もよいが、自分
が小学校、中学校のとき、よく外部から参観に来た

人々に對して獻じたと同様の事を、吾彼女等は、それ以上のものを獻じたに違ひないと思つた。再び中學校を參觀する所、引き返へたら、教科長兼任の

校長が来たので、私が我々の献心を引き受けてくれ、種々の資料を貸与して呉れた。

午後は、中學校備付用の化学実験用品を求め、農大へ行く。倉光氏について、農大へ赴く。今は、

相當に果て果て、放置されてあるが、以前の盛況さが憶けられる。或人も若き學生が農業改良

の爲に努力されてゐたらしい。種々の著書も見受

けられる。研究室と思はれる中に、本に散らば

れた紙片々に、艶まわがしい手紙がまじつてゐたのは

一糸のあはれささ感トさせた。

六月七日 精

朝から、機関の手傳ひ、翻譯にプリント刷り。
消んだら、機関員高瀬さんの好意により、
天生橋から伊家岡へとドライブと酒絡れり。
伊家岡では先輩、河瀬氏に会う。

六月八日

公立カニイ学校及び模範小学校を訪問。
校門を八つと大まは鏡が自分の身体を映す。服
装を整へるものなり。

廊下には、快樂路とか、進取路とかの名がついて
ゐる。授業は仲々熱心だ。附属幼稚園の

子供は、先生を手こづいてゐた。

小さい学校には、講堂に日本の小学生が贈つた繪や書が貼つてあつた。みえん生は日語の時おたつたが、大きないさあけて、雨が降りまゐるが、雨がやみましたとか、習つてゐた。先月借りた資料を中學校へ返す。

六月十日 晴

便を得て靖江縣へいし、

午前七時半頃、通称台灣船といふ所の漁船に天生港より乗船した。靖江縣は南通縣の西、

に接し、丁渡江隈砲台の対岸位にある。

船には、靖江へ運ぶ馬糧、ビールが積載され